

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.40 福井上中準支部

● あゆみ

私達の住む福井県若狭町は、平成17年に上中町と三方町が合併し、人口約15,000人の美しい自然が豊富な町です。26年前、合併前の人口8,500人の旧上中町でダウン症児が数十年ぶりに誕生し、その翌年・翌年と、3人が続けて誕生しました。町の保健師の尽力により3家族がつながり、これからの子育てについて、医師・学校・福祉関係者等、各方面の方々との話し合いや勉強会を積み重ね3家族でダウン症児家族の会「エンゼルの会」を結成。現在は1家族加わり4家族で活動し、「福井上中準支部」としてJDSに加盟しています。

田舎社会では、重度の障害児が生まれると、そのほとんどが家から離れた、都市の施設に預けるのが一般的だったそうです。私達の会では、それまでの慣習にとらわれず、地域で子どもを育てることを原点に、子ども達のために今何を

するべきかを話し合い、自ら行動することを基本に、保育所・小学校・養護学校・就労にむけてその時々、町・教育委員会・学校との話し合いや様々な要望活動などを積極的に行ってきました。

子どもの成長に合わせて、家族も大変勉強させられ、特に、地域の方々の理解も年々得られ、今では地域で「あたりまえ」に生活できる環境が整ってきたと思っています。

● 活動

子ども達が成長した現在では、「エンゼルの会」は、若狭町知的障害者家族の会の中の組織として、他の障害児を持つ家族と共に幅広く活動をしています。今年は新しい事業として町の支援を得て、バランスボールを活用した「健康づくり教室」を、家庭で親子で取り組める事業として始めます。将来的には、この事業を地域の人達とも一緒にできればと考えています。

● 準支部長より



平成11年の「エンゼルの会」発足当時から代表を務めています。また、平成12年からは若狭町の知的障害者家族の会、平成18年からは福井県若狭地域の福祉協会の代表等、子どもの成長と共に幅広く活動させていただいています。私の娘は、25年前に3人兄弟の3番目の長女として誕生してから、兄弟をはじめ地域の人、職場の方に支えられながら、今ではごく普通に生活しています。大切なのは、地域のなかで、障害者だけでなく子どもから高齢者すべての人々が普通に暮せる幸せを、みんなでどう支えていくかだと思います。これからも、だれもが普通に暮せる地域共生社会の実現にむけて微力ですが活動していきます。

- ◆設立年度：1999年
- ◆支部長：中村俊幸
- ◆会員数：4家族・11人
- ◆ご本人の年齢：17～26歳
- ◆対象地域：福井県若狭町および周辺地域
- ◆連絡先：電話 0770-62-0555
(中村)

今夏、4家族そろっての集合写真▶

